

平成18年12月22日

各位

会社名	ポケットカード株式会社
代表者名	代表取締役社長 都筑 誠 (コード番号：8519)
問合せ先	経営企画部長 落合 英幸
T E L	03-5441-3450
当社の親会社	三洋信販株式会社
代表者名	代表取締役社長 松本 陸彦 (コード番号：8573)
問合せ先	取締役常務執行役員 木山 博明
T E L	03-5157-3411 (東京本社) 092-272-3407 (福岡本社)

平成19年2月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年10月11日の中間決算発表時に公表しました平成19年2月期(平成18年3月1日～平成19年2月28日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年2月期 通期業績予想数値の修正(平成18年3月1日～平成19年2月28日)

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	39,000	8,600	5,000
今回修正予想(B)	39,000	6,600	1,000
増減額(B-A)	—	△2,000	△4,000
増減率(%)	—	△23.3	△80.0
(ご参考) 前期実績(平成18年2月期)	35,898	8,330	4,481

2. 修正の理由

(1) 利息返還損失引当金の計上

利息返還請求の拡大に伴う返還額及び債権放棄額の増加、また平成18年10月13日付けで、日本公認会計士協会より「消費者金融会社等の利息返還請求による損失に係る引当金の計上に関する監査上の取扱い」が公表されたことに伴い、当社では将来見込まれる利息返還請求に関連する損失額を見積った結果、利息返還損失に係る引当金を69億円計上することといたしました。

(2) 投資有価証券評価損の計上

当社はファミマクレジット株式会社との間に資本・業務提携を締結し、同社の株式を保有しておりますが、この株式について、貸金業法改正の方向性などを総合的に勘案し、保守的に評価額を見直した結果、7億円の投資有価証券評価損を計上することといたしました。

なお、同社と共同で行なっておりますクレジットカード事業につきましては、今後も一層の拡大を図る所存であり、業務の効率化等を通じて業績の向上に努めてまいります。

以上の結果、当社は平成19年2月期通期の業績予想を修正することといたしました。

3. 配当予想について

配当予想につきましては、現時点で変更する予定はございません。

※ 上記に記載した業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上